

事業所名

放課後等デイサービスNeST

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

31日

| | | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|------|-----|---------|---------|---|--|
| 法人（事業所）理念 | | 希望を育てて、未来をつくる | | | | | | |
| 支援方針 | | 感覚統合遊びやSSTプログラム、特性に応じた学習支援を通して、発達障がいのある児童が、日常生活に必要なスキルを習得し、社会性を育み、自信と自立に向けて成長することを目的とする。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分から | 19時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり なし | |
| 支援内容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活リズム（睡眠・食事・排泄など）や身辺自立（着替え、手洗い、歯みがきなど）への気づきを促し、安心して生活を送るための基本的な生活習慣を整える。身体の状態や感覚への気づきを深め、セルフケアや自己調整力を育てる。特性に応じた支援や環境調整を行いながら、無理のないステップで生活スキルの習得を支援する。安全への理解や他者との協力を通して、集団生活への適応力を高める。★生活スキル遊び：ごっこ遊び（買い物・料理・お風呂など）、生活動作の手順カードを使った練習、身支度リストなど ★健康への気づき：体の部位カード、気分の温度計、疲れたときのサイン探しなど ★感覚支援：歯みがきや着替えに伴う触覚刺激への慣れ、好みの素材の選択支援、においや音への配慮など ★安心感を育てる支援：決まったルーティン、視覚的なスケジュール提示、安心できる場所の確保など | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 前庭感覚、固有受容感覚、触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚など、様々な感覚への気づきを促し、感覚の過敏や鈍麻の調整を図る。身体のバランス感覚、協調性、柔軟性を養い、運動能力の向上をめざす。感覚統合を通じて集中力・注意力を高め、安心して落ち着いて活動できる状態をつくる。遊びや活動を通して、自己調整力や感覚の心地よさを体験的に学んでいく。★触覚遊び：小麦粉粘土、スライム、砂場遊び、布・ブラシ・水など様々な素材とのふれあい ★視覚遊び：プロジェクター遊び、シャボン玉、ライトテーブル、光のトンネルなど ★聴覚遊び：音楽に合わせて体を動かす、楽器演奏、自然の音・環境音に耳をすます活動など ★嗅覚・味覚遊び：アロマテラピー、スパイスや食材のにおい比べ、クッキングや味覚体験など ★運動遊び：トランポリン、平均台、ボール遊び、サーキット運動、リズム体操など | | | | | | |
| | 認知・行動 | 記憶、注意、思考、言語理解、実行機能などの認知機能への気づきを促し、偏りや困りごとに対して適切なサポートを行う。特性に応じた関わりや環境設定を通じて、安心して自分のペースで考えたり行動したりできる力を育む。状況理解や感情調整、対人スキルの獲得を支援し、社会的適応力を高める。問題解決力や自己表現力を養い、主体的な行動ができるようになる。★認知遊び：カードゲーム、間違い探し、パズル、絵合わせなど ★SST：ロールプレイ、絵カードを使ったやりとり練習、気持ちの色分け・ラベリングなど ★学習支援：視覚支援、タイムタイマー、感情温度計などの補助ツールの活用 | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言葉の理解や表出、やりとりの力を育てるとともに、自分の気持ちや考えを伝える力を養う。視線や表情、ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーションにも注目し、個々のスタイルに応じた関わりを行う。相手の気持ちを想像したり、場面に応じた言葉の使い方を学んだりする中で、豊かな対人関係を築けるよう支援する。特性に応じて視覚的支援や代替的コミュニケーション手段（AAC）を活用し、安心して伝え合える環境を整える。★言語あそび：しりとり、言葉カード、ことば集めゲーム、絵本の読み聞かせ・再話 ★やりとりあそび：ごっこ遊び、質問ゲーム、サイコロトーク、役割交代あそびなど ★非言語コミュニケーション支援：表情カード、気持ちの顔まね、ジェスチャー遊びなど ★支援ツール活用：コミュニケーションブック、絵カード、スケジュールや選択ボード、ボイス出力デバイスなど | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 他者との関わり方や集団の中でのふるまい方を学び、安心して人とつながる力を育む。あいさつや順番、ルールなど社会的なルールへの気づきを促し、集団活動への参加意欲を高める。友だちとのやりとりや気持ちの共有を通じて、相手の立場や感情を理解する力（視点取得）を育てる。トラブルや困りごとが起きた際の対処の仕方を練習し、実生活で役立つソーシャルスキルの習得を支援する。特性に応じて視覚支援やロールプレイを取り入れながら、楽しみながら学べる関わりを行う。★関わり遊び：ごっこ遊び、協力ゲーム、ボードゲーム、チームでの制作活動など ★ルール・順番の理解：すごろく、かるた、ジャンケン、順番カードの活用など ★気持ちの理解・共有：気持ちカード、絵本の読み聞かせと感情のふり返り、顔の表情マッチングなど ★SST：ロールプレイ、問題場面の絵カードを使った対応の練習、YES/NOカード、選択肢提示による対応の学び | | | | | | |
| 家族支援 | | ★個別支援：定期的な面談、発達や特性についての情報提供 ★グループ支援：保護者交流会、勉強会、ペアレントトレーニング（PT）など ★安心できる関係づくり：共感的な傾聴、保護者のペースに寄り添った対話、家庭の状況に応じた柔軟な支援 | | | 移行支援 | | ★子どもへの支援：体験訪問や交流機会の提供 ★保護者支援：進学・進級に関する相談対応、必要書類や準備物のサポート、情報共有の場の提供 ★関係機関との連携：引き継ぎシートの作成、担当者同士の面談・ケース会議、支援内容の共有と調整 | |
| 地域支援・地域連携 | | ★地域との連携：学校・園との情報共有、関係機関とのケース会議 ★地域資源の活用：地域イベントへの同行支援 ★相談・支援の窓口づくり：保護者向けの相談会・勉強会、地域支援機関とのつなぎ ★啓発活動：多様な子どもや家庭を理解し支え合う地域づくり | | | 職員の質の向上 | | ★研修・勉強会：専門的な知識や技術に関する研修 ★スーパービジョン・フィードバック：定期的なスーパービジョン ★チームビルディング：定期的なチームミーティング ★自己評価とキャリア開発：個々のキャリア目標に基づいたサポート | |
| 主な行事等 | | 春の遠足（自然公園や動物園など）、夏祭り（模擬店やゲーム）、秋の運動会、冬のクリスマス会（プレゼント交換やケーキ作り）、アート・クラフトデイ（絵画や工作など、創造的な活動を通じて自己表現を促進）、クッキングイベント（簡単な料理やお菓子作りを通して、手先の器用さや協力する力を養う）、サイエンスデイ（簡単な実験や工作を通じて、科学的な興味や探求心を刺激する）、スポーツイベント（ゲームやサーキットなどの体を使った活動を通して、運動能力や協調性を養う）、社会見学・外出活動（近隣の博物館や動物園、公園などへの社会見学。日常的な外出を通じて、社会とのつながりや自立支援を行う） | | | | | | |